

雄物川の出水対応について ～ホットラインの実施と効果～

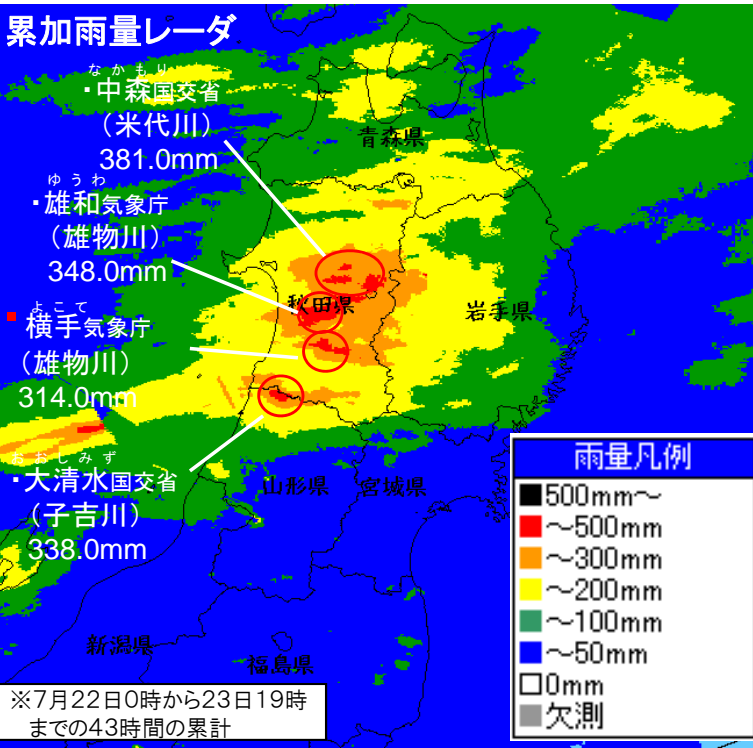
平成29年11月22日

東北地方整備局 水災害予報センター

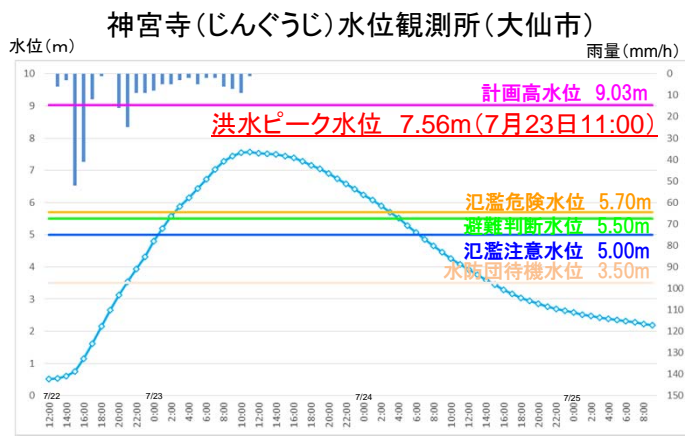
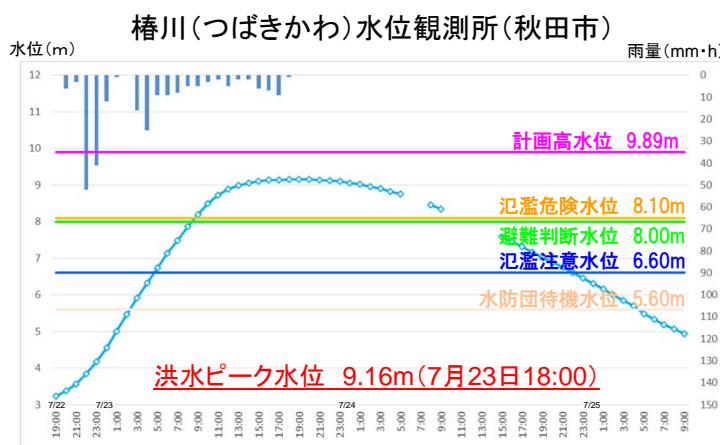
7月22日からの豪雨おける洪水概要

活発な梅雨前線の影響で、秋田県で非常に激しい雨が降り、累加雨量は多いところで300ミリを超える大雨となり、多くの観測所で24時間雨量観測史上最大を記録した。

雄物川の椿川水位観測所では、昭和11年の観測開始から最大の水位を記録した。また、雄物川の神宮寺水位観測所では、観測史上最大(平成23年6月)に次ぐ、第二位の水位となるなど、記録的な洪水となった。



雄物川主要地点 水位状況



雄物川被害状況



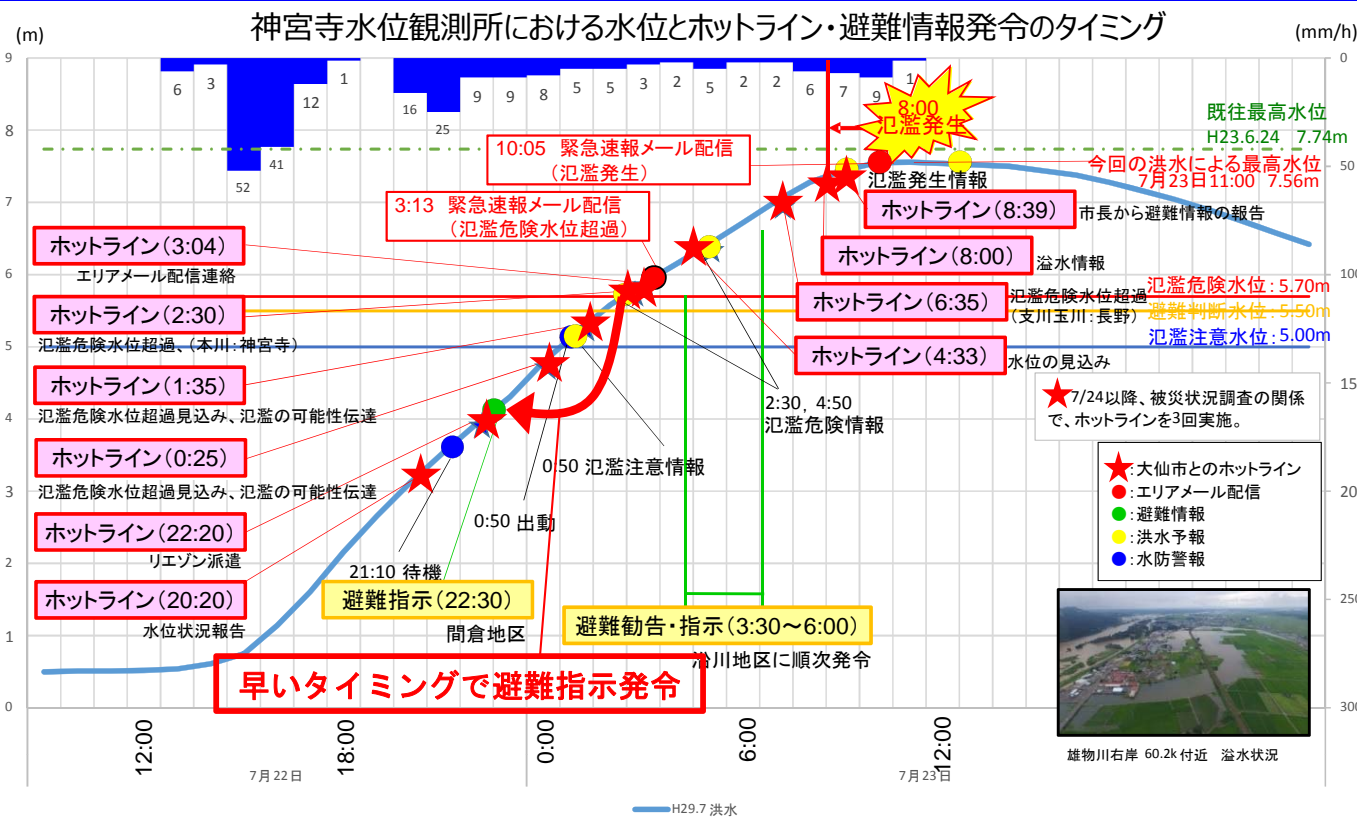
河川出水状況(直轄河川)

- レベル5(溢水) <1河川>
 - ・雄物川
- レベル3(避難判断水位 超過) <1河川>
 - ・子吉川、
- レベル2(氾濫注意水位 超過) <1河川>
 - ・米代川、北上川

7月22日からの豪雨におけるホットラインの実施状況と効果

- 雄物川（国管理区間）では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、河川事務所長等と市長等のホットラインを3市に延べ21回（※）実施。（※7月22日から24日までに、被害の生じた雄物川水系で事務所長等と市長等との間で実施したもの）
- タイムラインを踏まえた緊密なホットラインにより、湯沢河川国道事務所長から大仙市長に河川の状況等を詳しく伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難指示を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。合わせて国土交通省は、緊急速報メールにより河川情報を住民等に配信。

湯沢河川国道事務所から大仙市へのホットラインの例



【位置図】

雄物川

水系	県	市町村	回数
雄物川	秋田県	秋田市	6
		大仙市	13
		横手市	2
合計			21

寺館大巻地区
間倉地区

雄物川 左岸46.0k付近 溢水による住家浸水
雄物川 右岸60.2k付近 溢水による住家浸水

大仙市長のコメント
緊急速報メール

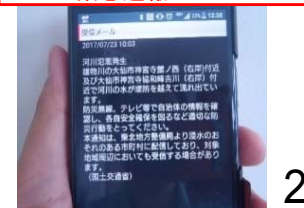
<被害状況>

浸水面積 32.0km²
浸水家屋 1,028戸

<避難情報発令状況>

避難勧告 8,051世帯 21,584人
避難指示 8,486世帯 22,799人

・7月洪水では、事務所長からホットラインの度重なる情報提供がなされ、それを踏まえて、適時の避難情報発令を行えた。



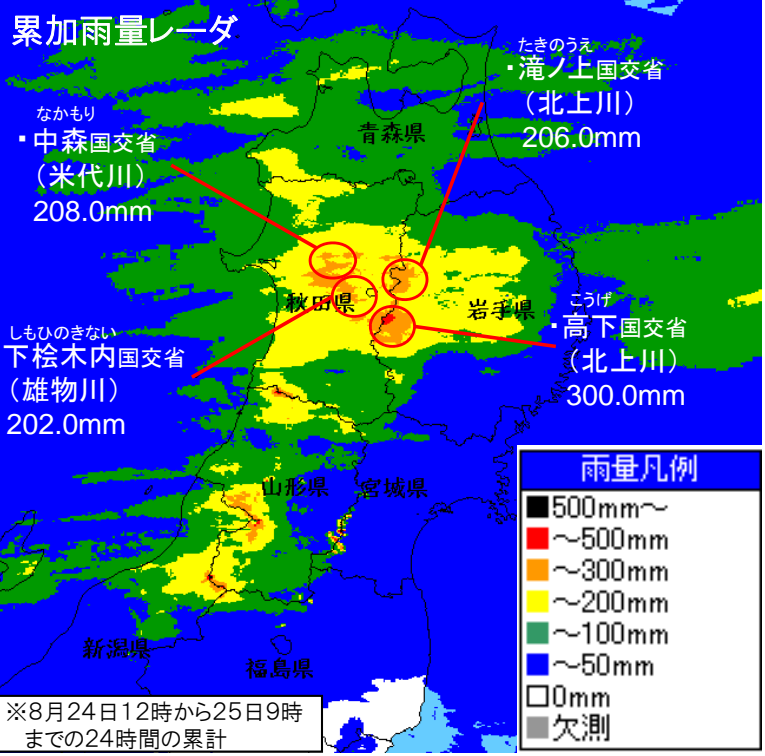
※被害状況、避難情報発令状況は雄物川全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

8月24日からの豪雨における洪水概要

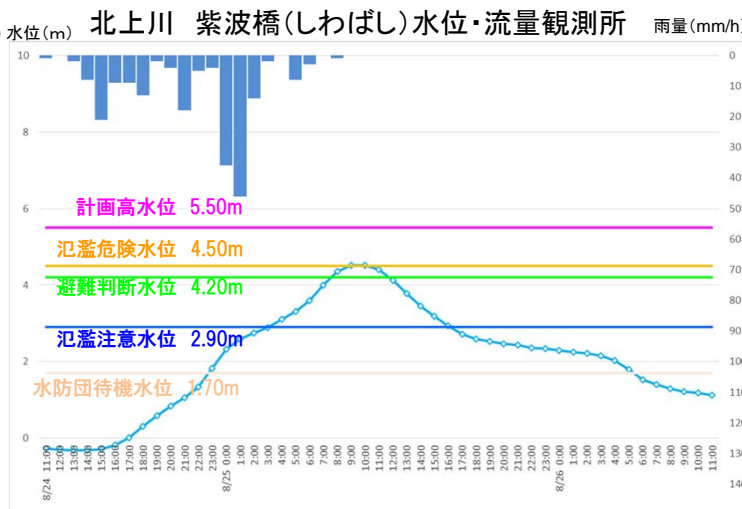
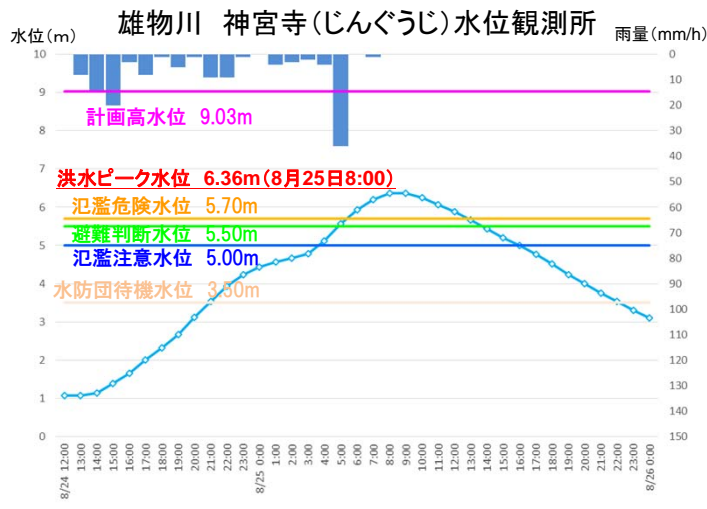
前線を伴う低気圧の影響で、24日昼前～25日の明け方にかけて、東北北部で非常に激しい雨が降り、**累加雨量は多いところで300mmに達した。**

特に、**秋田県の玉川ダムでは過去最高の流入量(1,200m³/s)を記録し**、雄物川の神宮寺水位観測所、玉川の長野水位観測所の2観測所で氾濫危険水位を上回るなど、**先月(7月22日)に続き短期間のうちに二度の大きな洪水となった。**

岩手県の北上川では、紫波橋水位観測所の1観測所で氾濫危険水位を超過した



主要地点 水位状況



被害状況(雄物川)



河川出水状況(直轄河川)

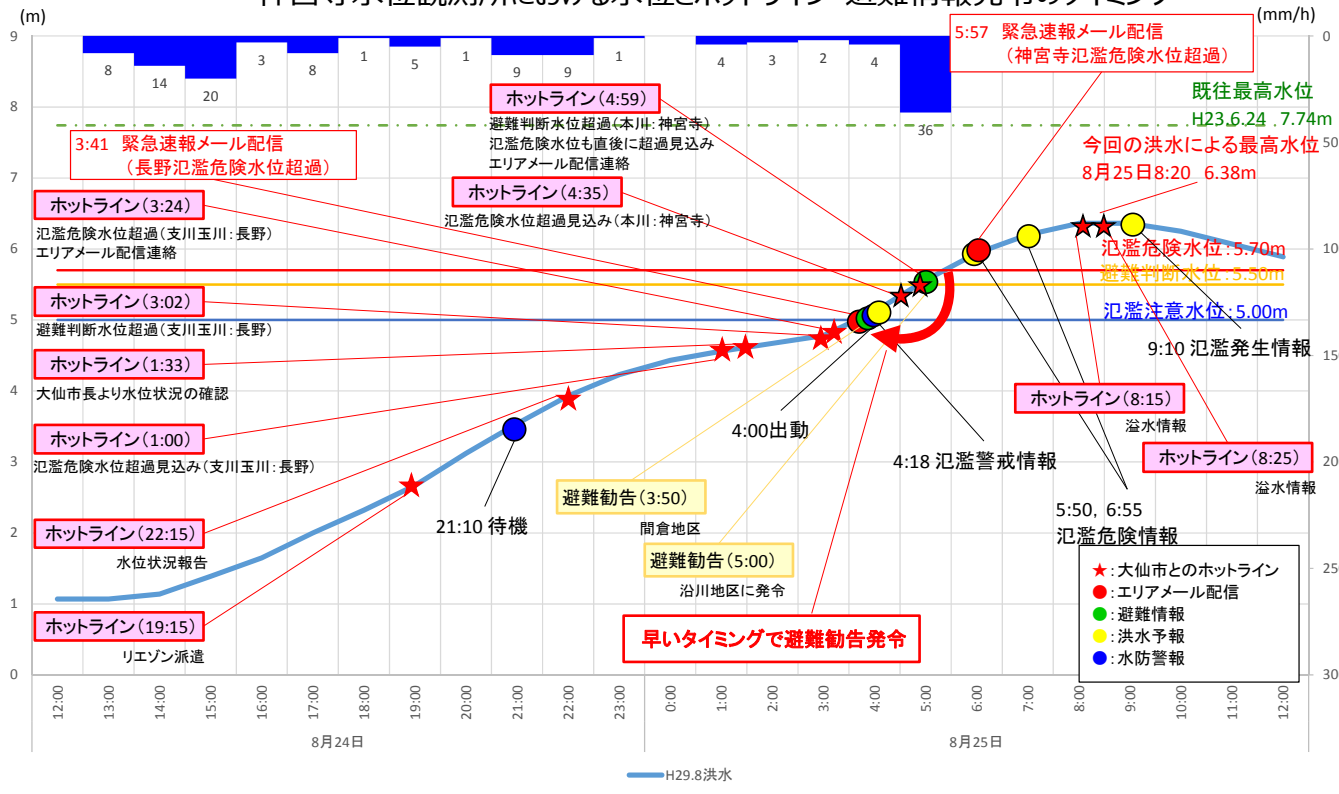
- レベル5(溢水) <1河川>
おものがわ
・雄物川
- レベル4(氾濫危険水位超過) <1河川>
きたかみがわ
・北上川
- レベル3(避難判断水位超過) <1河川>
こよしがわ
・子吉川
- レベル2(氾濫注意水位超過) <1河川>
まねしろがわ
・米代川

8月24日からの豪雨におけるホットラインの実施状況と効果

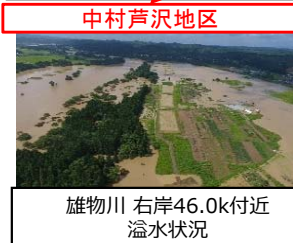
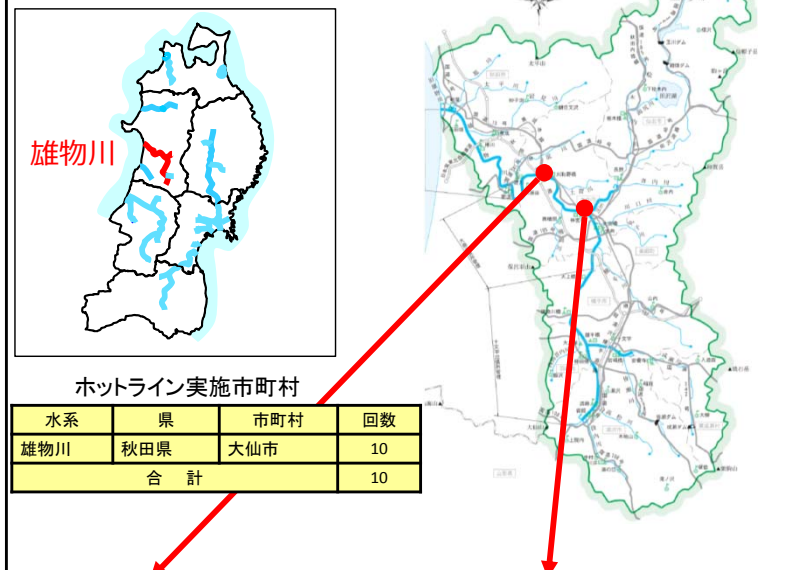
- 雄物川（国管理区間）では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、河川事務所長と市長のホットラインを10回（※）実施。（※8月24日から25日までに、被害の生じた雄物川水系で事務所長等と市長等との間で実施したもの。）
- タイムラインを踏まえた湯沢河川国道事務所長から大仙市長への緊密なホットラインに加え、リエゾンにより河川の状況等を詳しく伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難勧告を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。併せて国土交通省は、緊急速報メールにより河川情報を住民等に配信

湯沢河川国道事務所から大仙市へのホットラインの例

神宮寺水位観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



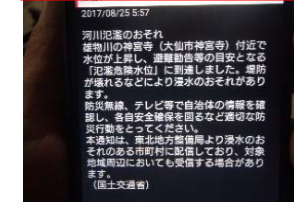
【位置図】



大仙市防災担当者より

・水位上昇前に水位予測情報がホットラインにより情報提供されたため、市役所の体制を速やかに準備することが出来た。特に7月洪水での浸水地区を念頭に水位予測情報が随時提供されたため、今回も早めの避難情報発令が実施できた。

エリアメール配信状況



<被害状況>

浸水面積 6.2km²
浸水家屋 6戸

<避難情報発令状況>

避難勧告 6,337世帯 16,393人

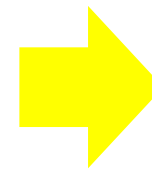
※被害状況、避難情報発令状況は雄物川全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

「避難確保計画の作成と避難訓練により、無事全員が避難」

～大仙市 特別養護老人ホーム「愛幸園」の取り組み～

【特別養護老人ホーム 愛幸園】

- ・洪水に対する避難確保計画を追加改正（平成28年10月）
- ・近年洪水及び現地状況から、避難基準水位及び避難経路を設定
- ・避難確保計画に基づき、洪水に備え避難訓練を実施



迅速な避難

【避難路計画】

避難所周辺の道幅が狭く、スムーズなピストン移送を考慮し、往路と復路を事前に設定

【避難基準水位】

H23.6.24洪水時の水位を基に、避難時間等過去の経験を基に基準水位を設定

- ・神宮寺水位6.60m
- ※H23.6.24洪水で神宮寺観測史上最高水位7.74mを記録

避難所(平和中学校)



避難路

特別養護老人ホーム「愛幸園」

神宮寺水位観測所 ▲

雄物川

愛幸園の対応

22日夜

職員15人待機
水位・気象情報収集

23日 5:40

神宮寺水位
基準水位6.6m超過

職員全員を招集

23日 7:30

避難開始

23日 10:00頃

避難完了

生きた岩泉の教訓



独自基準で避難準備 計画見直し、訓練重ねる



【秋田県大仙市】秋田県大仙市、雄物川支那山地区の特別養護老人ホーム「愛幸園」が、23日、避難訓練を実施した。近年の豪雨による洪水被害の深刻化を受け、避難確保計画の見直しや、避難経路の確認などを実施した。また、避難訓練を重ね、職員や利用者の避難行動を確認した。訓練は、避難準備、避難開始、避難完了の3段階で行われ、職員は、避難準備中に水位や気象情報を収集し、避難開始時には、職員全員を招集し、避難開始後は、避難完了を確認した。訓練は、23日午後7時30分から開始され、約10分間で完了した。訓練は、毎年実施しているが、今回のように、避難確保計画の見直しや、避難経路の確認などを実施したのは初めてである。



H28.11.25 避難訓練の様子

○概要

亶理町^{わたりちょう おおくま}逢隈分団は、台風21号の影響に伴う出水に際し、27名が出動。
 亶理町では、降り始めからの雨量が314mm(气象台:亶理)を観測する大雨により河川が増水。

町内では大雨に伴う道路冠水等の被害を受ける危険な状況の中、地域の巡視や堤防漏水箇所での月の輪工法を行い人的被害の軽減や地域の安全・安心のため活動した。



活動時間	出動延べ人数	主な活動内容
10/22~10/23 約25時間	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・月の輪工(3箇所) ・警戒巡視(市内全域) ・警戒広報(市内全域)

水防活動(月の輪工法)

阿武隈川右岸6k地点 今泉地区の漏水箇所での水防工法を実施。水防団員の他、地域の自主防災組織の2名も協力し、月の輪工3箇所実施した。

【地域の声】



・今泉地区自治会長
渡邊光一さん

地区長として、水防団と地区の連携をとれるように日頃から心がけている。

阿武隈川の出水は時間も長く、水防活動は夜間作業も多いので、水防団が活動しやすくなるような配慮(飲食物の提供など)も行っている。

水防団の人たちを地域の方は頼りにしている。



【月の輪工法 3箇所設置】



【水防活動状況】